

表 22 2014年末わが国の慢性透析療法の現況(所在県別)長野県
20 長野県

透析施設の現況(施設調査票より)	
施設数	72
ベッドサイドコンソール	2,050
同時透析	2,026
最大収容	6,356

透析患者数(施設調査票より)						
	通院		入院		合計	
昼間	3,823	(81.58)	354	(98.06)	4,177	(82.76)
夜間	732	(15.62)	2	(0.55)	734	(14.54)
在宅	4	(0.09)	0	(0.00)	4	(0.08)
腹膜透析	127	(2.71)	5	(1.39)	132	(2.62)
合計	4,686	(100.00)	361	(100.00)	5,047	(100.00)

かっこ内は列方向の合計に対する%です。

新規導入、死亡患者数(施設調査票より)	
導入患者	611
死亡患者	523

腹膜透析に関する患者数(施設調査票より)	
HD、HDF等とPDを併用している患者数	30
腹膜カテーテルを残している洗浄患者など	5
腹膜透析新規導入、年内脱落患者数	1

(C)Japanese Society for Dialysis Therapy
2014年末調査

透析従事者数(施設調査票より)							
	医師	看護師	臨床工学士	栄養士	ケースワーカー	その他	合計
専従	65	560	201	5	0	99	930
兼務	135	88	199	78	61	55	616
合計	200	648	400	83	61	154	1,546

透析歴別人数(患者調査票より)									
透析歴	男性		女性		合計		記載なし		総計
2年未満	702	(21.36)	327	(19.65)	1,029	(20.78)	0	()	1,029 (20.78)
2年～	870	(26.47)	390	(23.44)	1,260	(25.45)	0	()	1,260 (25.45)
5年～	865	(26.32)	401	(24.10)	1,266	(25.57)	0	()	1,266 (25.57)
10年～	420	(12.78)	233	(14.00)	653	(13.19)	0	()	653 (13.19)
15年～	209	(6.36)	141	(8.47)	350	(7.07)	0	()	350 (7.07)
20年～	100	(3.04)	87	(5.23)	187	(3.78)	0	()	187 (3.78)
25年～	60	(1.83)	38	(2.28)	98	(1.98)	0	()	98 (1.98)
30年～	32	(0.97)	31	(1.86)	63	(1.27)	0	()	63 (1.27)
35年～	24	(0.73)	15	(0.90)	39	(0.79)	0	()	39 (0.79)
40年～	5	(0.15)	1	(0.06)	6	(0.12)	0	()	6 (0.12)
合計	3,287	(100.00)	1,664	(100.00)	4,951	(100.00)	0	()	4,951 (100.00)
不明	0		2		2		0		2
記載なし	0		0		0		0		0
総計	3,287		1,666		4,953		0		4,953
平均	7.01		8.13		7.39		0		7.39
標準偏差	7.21		7.98		7.50		0		7.50

かっこ内は列方向の合計に対する%です。

最長透析歴(患者調査表より)	
最長透析歴	43年6ヶ月